

# 徳島県立 城ノ内 中等教育学校

**School  
guide  
2020**



**本県初！ 令和2年4月開校**

## 高い志をもって 社会の平和と発展に 貢献できる人材の育成

徳島県立城ノ内中等教育学校は、6年間の計画的・継続的な教育を展開することで、生徒たちの自主性や協調性を育てていきながら個性や創造性を最大限伸ばしていきます。

### その実現のため、私たちは次の5つを学校の特色としています。

- 学力向上はもとより、県内全域から集まる仲間と共に、多彩な学校行事や部活動等を通して、豊かな人間性、国際性、創造性を育みます。
- 難関大学・学部をはじめ、希望する進路に適した教育課程の編成や、将来を考える「未来を拓く講演会」など、一人ひとりの夢の実現をサポートします。
- うっちーな体験塾やゴルフ研修など本校独自の体験的活動、また「エシカル消費」の取り組みを推進し、協働の精神と社会に貢献する意欲や態度を養います。
- 海外語学研修や国内外の中高一貫教育校との交流を通して、高いコミュニケーション能力を持ち、グローバル社会に対応できる人材を育てます。
- 学びの原点となる好奇心を大切に、「総合的な学習の時間」・「総合的な探究の時間」のプレゼン発表会の実施や全国規模のコンクール等にチャレンジすることで、探究心と科学的思考力を育成します。



## めざす生徒像

### 人間性

社会貢献の自覚をもち、  
仲間と共に学び合い、  
向上していく人間性豊かな生徒



### 国際性

多様な文化・価値観を尊重し、  
自己の考えや意思を表現できる  
国際性豊かな生徒

### 創造性

科学技術に関心をもち、  
主体的に考え、  
追究することができる  
創造性豊かな生徒

## めざす学校像

- 世界に通じるグローバル人材の育成
- 進学面において本県中等教育を牽引する学校づくり

### 「学力分野のリーディングハイスクール」指定校

- ◆ 週33時間(前期課程)・週35時間(後期課程)授業の実施  
授業時間の増加により、高度化した教育内容に余裕を持って対応することができ、学習内容の理解・定着が向上します。

### ICT機器の積極的導入

- ◆ CALL(語学学習支援)システム  
英語の「読む・聞く・話す」技能の向上を図り、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上を図っています。
- ◆ 電子黒板  
すべての教室に電子黒板やプロジェクターが設置され、アクティブでわかりやすく質の高い授業が行われています。

# 豊かな 人間性

社会の発展に  
貢献できる人材を  
育成する

社会の発展に貢献しようという高い志を持ち、自分の夢を追いかける。仲間を大切にし、切磋琢磨する。城ノ内はそのような生徒を育てたいと考えています。そのためにボランティア活動を通して社会奉仕の精神や社会貢献への自覚を高めます。また、自然体験や平和学習などの学校行事を通して、豊かな人間性を育てます。



● 1年生宿泊研修(淡路島)



● 幼児ふれあい体験学習

● 除草作業



● 校外体験活動(1年生)

● 校外体験活動(3年生)



● 人権委員会美化活動



● 2年生平和学習(広島)

● 球技大会



● 3年生スキー研修(北海道)



● 県外中高一貫教育校との交流

● 避難訓練



● 人権集会

## 興味・関心を高める体験

城ノ内では、夏季休業中に「うっちーな体験塾」を開設しています。普段の授業では学べない、教科の枠を超えた体験を通して、さまざまな分野への興味・関心を高めていくことを目的としています。毎年、アイデアにあふれた講座が開設されています。



● テニスクラブ



● 蒸し料理に挑戦



● 絵本作家になろう



● 藍染め体験



● ギターで遊ぼう

それぞれの個性や  
創造性を伸ばす



● 大阪大工学研究室での講義



● 阿波の古代体験

徳島を  
思う心を  
育てる

将来に  
生かす



● 三味線にチャレンジ



● 徳島文理大学薬学部体験



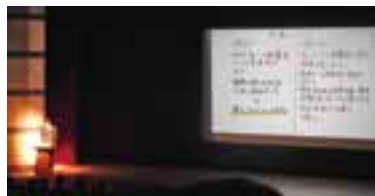
● 賢い消費者になろう

## 幅広い年齢 集団での学び

学年間の円滑な接続を図るため、学習面だけでなく学校行事や部活動等においても生徒の交流を積極的に行い、教員も6年間にわたり生徒を見守っています。



● 城ノ内祭 開会式 (吹奏楽部)



● 総合学習発表会(教育会館)



● 文化祭 演劇部による公演



● 弓道部の練習風景

# 豊かな 国際性

実践的な英語力を身につけ、  
豊かな表現力を育てる



本校は世界に通じるグローバル人材の育成をめざして様々な教育を行っています。広い視野を持ち、異文化の価値観を認めながら社会で活躍できるように国際理解教育を行っています。

また、グローバル社会を生きる子どもたちにとって欠かせない英語力を身につけさせるため、城ノ内独自の取り組みを行っています。英語により自己表現し、プレゼンテーションができる生徒を育てることをめざしています。

## ●海外語学研修

3年生の希望者に海外語学研修(2週間)を実施しています。

令和元年度7月28日～8月9日  
オーストラリア・ケアンズ

豊かな自然に恵まれた町で、親切なホストファミリーや現地校の生徒たちと交流し、充実した時間を過ごしました。



ケアンズ



## 城ノ内独自の 取り組み

### ● 独自科目「グローバル・イングリッシュ」

楽しく英語を学びながら、グローバルな視点から異文化を受け入れ学ぶ力を育成します。英語の歌や日常的な会話、スピーチ、プレゼンテーションなどコミュニケーション能力を伸ばす教育を展開しています。



CALL教室  
での授業



### ● CALLシステム

平成26年度より導入されたCALL教室では、より効果的な英語学習のため、チエルというシステムが導入されています。

個人の力に合わせた検定のような個人レッスンや、離れた席同士でのアトラダムなペア学習ができます。

### ● ヴィルヘルム・ラーベ中等教育学校との交流

平成31年2月、本校生は「世界に広がれ！とくしま“歓喜の歌”合唱団」に参加したドイツのニーダーザクセン州ヴィルヘルム・ラーベ校へ研修に行きました。

ドイツの歴史や文化を学んだり、日本の伝統文化を伝えたりする活動を通して、日独の交流を深めました。



# 豊かな 創造性

科学技術に関心を持ち  
創造する力を養う



数学は、体系的な指導を重視しているため、授業を「代数」と「幾何」に分けて行います。また、数学検定などに積極的に挑戦させ、子どもたちが達成感を持てるよう指導しています。理科の授業は、観察・実験などを多く行い、科学的な思考力・表現力の育成に力を入れます。そして、自分たちの力を試すために、全国コンクールに積極的にチャレンジしています。

## ●豊かな創造力は、ものづくりから

技術・家庭科におけるロボット製作、お弁当やアイデアバッグ作り等の「ものづくり」を通して、自分自身で考えたものを創り出し、形にしていく楽しさを実感しています。

### 技術



●「創造アイデアロボット  
コンテスト」(基礎部門)  
中四国大会の様子

●「木工チャレンジコンテスト」  
厚生労働大臣賞(全国2位相当)



### 家庭科



第19回  
全国中学生  
創造ものづくり  
教育フェア

●「生徒作品」コンクール  
特許庁長官賞(全国3位相当)



●「あなたのためのおべんとう  
コンクール」  
文部科学大臣賞(全国1位相当)



●「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール全国大会 日本家政学会被服構成学部会長賞(8位相当)



### エシカル



●エシカル消費講演会



●エシカル 文化祭





## 科学的な思考を育てる

平成30年度、科学の甲子園ジュニアにチャレンジしました。県内で勝ち残り、1チームは全国大会に出場。全国からの出場者たちと戦い優良賞を受賞しました。

また、夏季休業中のうちの体験塾でも、科学的思考を培うためにさまざまな講座が開かれています。

### 科学の甲子園



●科学の甲子園 県大会優勝・特別審査員賞



●科学の甲子園 全国大会

### うちの体験塾



●角の二等分器を作ろう



●徳島文理大学薬学部体験



●理科自由研究の進め方

### 宇宙へ



●未来創造シンポジウム

平成30年度、宇宙飛行士の金井宣茂さん(JAXA)によるシンポジウムが行われました。宇宙飛行士の仕事や、夢を実現するための秘訣を教わりました。

# 6年間の学習スタイル

## 充実した学習時間

前期課程：週33時間、後期課程：週35時間

## 英語・数学・理科に重点を置いたカリキュラム



6年間で2年間ずつ基礎期・充実期・発展期の3期に区分し、それぞれの発達段階に応じて重点の置き方を変え、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、応用力を養い充実した進路指導を行います。また、英語・数学・国語・理科の4教科については、3年生の2学期より後期課程の学習内容を一部移行(先取り学習)し、一貫性のある学習スタイルを編成し計画的・継続的な指導を行います。週あたりの授業時数は、前期課程：週33時間、後期課程：週35時間です。

### 教育課程の概要

前期課程			後期課程		
1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
基礎期		充実期		発展期	
週33時間			週35時間		
前期課程3年分の学習(英・数・国・理)			後期課程の先取り学習(英・数・国・理)		
			単位制を生かした習熟度別授業の実施		
○語学学習：前期課程において公立中学校の1.5倍以上の英語の授業時間を確保					
○進路学習：6年間一貫して将来の進路を考えるキャリア教育科目「未来設計」の設定					
○特別活動：リーダーシップや協調性を育成する異年齢集団による学校行事					

### 毎日の授業で勝負

=先生も生徒も、毎日の授業に「真剣勝負」で臨んでいます

生徒の皆さんにとっては、毎日の授業が一番大切です。そこで、先生方も「学力向上検討委員会」を設け、よりよい授業・よりわかりやすい授業をめざし、さまざまな取り組みをしています。

#### その1

わかりやすい授業をめざして、研究授業や授業研究会を実施し、授業力アップを図っています。

#### その2

「学校総合評価」として、生徒が授業を受ける自分の態度をチェックすると同時に、すべての先生の授業を評価します。

### 授業で習ったことを試して確認

授業で習ったことがきっちりと理解できているか、覚えられているかを確認するため、年5回の中間・期末考査の他に、校内実力テストを実施し、学力の向上に役立っています。

### 進路希望をかなえるために、充実したガイダンス

学習実態調査、三者面談、学年別PTA、進路講演会、随時実施される個人面談、いろいろな機会・いろいろな形態で進路に関する疑問を解消し、自分の進路が決定できるようサポートしていきます。

### 放課後の充実した自主学習

自主学習のために、早朝や放課後、会議室・図書館・進学資料室を開放しています。図書館には、個人ブースが約40あり、また、6人がけのゆったりとした大きな学習机も、図書館いっぱいたくさん並んでいます。

進学資料室には、大学別の過去入試問題集や大学、短大、専門学校等の学校案内が揃いっぱいところせましと並び、休み時間や放課後などいつでも閲覧できます。



■図書館の個人ブース



■図書館の6人がけの机



■放課後の進学資料室

# 城ノ内の一日

※前期課程



なんと言っても授業が基本！各教科の先生が工夫を凝らした授業を行っています。



## 過去5年間の難関大学等合格者数推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
東 京 大 学	2	2			2
京 都 大 学		1	3	2	1
北 海 道 大 学		1		1	2
東 京 北 大 学	2				
東 京 工 業 大 学				1	
名 古 屋 大 学	2	3	2	5	3
大 阪 大 学	6	2		1	2
神 戸 大 学	3	4	8	6	5
九 州 大 学	2	2	1		1
国 公 立 大 医 学 科	8	4	6	9	7

## 卒業生が語る城ノ内 (平成31年3月卒業生)



徳島大学  
医学部 医学科  
石丸 漱一郎  
10期生  
平成25年度中学校入学

城ノ内中・高を卒業した今、学校生活を振り返ってみると、6年の一貫教育は、私にとって、とても有意義であったと思います。

学習面においては、中学入学時から常に大学受験を見据えて計画的に勉強することができましたし、生活面においても、幅広い学年層の生徒と一緒に学校生活を送るとともに、6年間を通して先生方からご指導していただくことができました。一貫教育は大学受験にとって大きな強みだと思います。

また、英語の授業で取り入れられているCALLシステムは、リスニングと会話の双方向の学習を高めることにとても役立ちましたし、定期的に行われる英検、漢検、数検などの検定を校内で受験することができたのも大きなメリットでした。

城ノ内は学校行事も充実しています。高い志を持つ仲間、そしてそれを支えてくださる先生方と過ごす6年間はきっと素晴らしいものとなるでしょう。



徳島大学  
歯学部 歯学科  
後藤田 菜子  
10期生  
平成25年度中学校入学

私は城ノ内中学校・高等学校で合わせて6年間お世話になりました。城ノ内は中高一貫校であり、中学生の内から高校の勉強の先取りができます。また、高校受験がないため、その分の時間を部活や勉強、語学研修など他のことに充てられ、自分の将来について考える時間もより長くなります。私自身、大学受験を見据えてコンスタントに勉強することができたのはこの環境があったからだと感じています。

そして、城ノ内ならではの豊かな体験活動では他の学校では味わえない貴重な経験が得られます。いろんなものを見て、聞いて、感じる中で自分らしさや唯一無二の仲間を見つけられること間違いなしです。

城ノ内での経験や個性豊かな先生方、仲間たちとの出会いは必ず自分の人生の糧になります。最高の6年間を是非城ノ内生として過ごしましょう！



金沢大学  
人間社会学域部  
地域創造学類  
地域プランニング専攻  
藤本 奈央  
10期生  
平成25年度中学校入学

私は城ノ内で中学校、高校の6年間お世話になりました。城ノ内には県内から個性的な人たちが集まるので、毎日の学校生活に発見があり面白いです。しかし彼らは個性だけでなく大志も抱いており、そんな人たちが周りにいる環境はいい刺激になりました。また、高校の先生が中学校で授業を行ってくれることも他校では滅多にないことの1つだと思います。さらに部活動では高校生との合同のものがいくつかあり、経験のある先輩方から学ぶことができます。私は百人一首部に所属していたのですが、高校生と一緒に練習させてもらい、貴重な経験を積むことができました。この他にも城ノ内には沢山の魅力があります。城ノ内で過ごす6年間はかけがえのないものになるでしょう。

# 充実した学校生活

城ノ内生の一年



## 4月

始業式・入学式  
対面式  
宿泊研修(淡路島)(1年生)  
自然体験活動(4年生)  
クラス体験活動(6年生)

## 5月

授業参観(PTA総会)  
防災避難訓練  
AED講習会(1年生)  
中間考査  
生徒総会

## 6月

幼児ふれあい体験学習(3年生)  
水泳実習(1~3年生)  
修学旅行(5年生)

## 10月

中間考査  
学校公開

## 11月

三味線授業(1~3年生)  
校外体験活動(1・3年生)  
職場体験(3年生)  
生徒会役員選挙

## 12月

期末考査  
球技大会  
終業式





●6月 修学旅行



●7月 球技大会



●9月 宿泊研修



●9月 文化祭



●6月 水泳実習



●8月 うっちーな体験塾



●9月 体育祭

# 7月

期末考査  
球技大会  
終業式

# 8月

うっちーな体験塾(1~3年生)  
オープンキャンパス参加(4~6年生)  
海外語学研修

# 9月

始業式  
城ノ内祭  
宿泊研修<広島>(2年生)

城ノ内は  
ココ!

本校のイメージキャラクター  
うっちーな



# 1月

始業式  
予餞会

# 2月

阿波踊り講座(1~3年生)  
合唱コンクール(1~3年生)  
学年末考査

# 3月

卒業式(6年生)  
宿泊研修<北海道>(3年生)  
総合学習発表会  
人権教育映画会



●2月 合唱コンクール



●3月 卒業式



●3月 宿泊研修



●1月 予餞会



●2月 阿波踊り講座



●3月 宿泊研修



●3月 総合学習発表会

# 部活動を通じた 仲間づくり

県下から集まった仲間と共に部活動に励み、心身ともにたくましく成長する城ノ内生。

1年生から6年生まで合同で練習している部もあり、それぞれのコンクールや大会での活躍がお互いの刺激となっています。

●弓道



●バスケットボール



## 運 動 部

1～3年  
前期課程

- 弓道
- 剣道
- サッカー
- テニス
- バスケットボール
- 陸上競技
- 軟式野球

4～6年  
後期課程

- 弓道
- 剣道
- 硬式野球
- サッカー
- テニス
- 登山
- バスケットボール
- バドミントン
- バレーボール
- フェンシング
- ラグビー
- 陸上競技



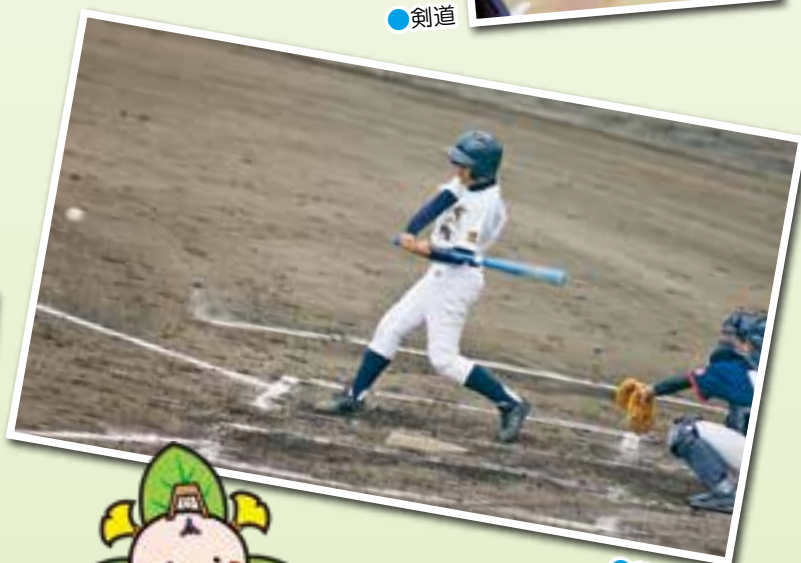
●サッカー



●剣道



●テニス



●軟式野球



●陸上競技





●百人一首



●吹奏楽

# 文化 部



●演劇



●囲碁・将棋

1~3年  
前期課程

- 囲碁・将棋
- 英会話
- 演劇
- 吹奏楽
- パソコン
- 書道
- 美術
- 技術
- 百人一首

4~6年  
後期課程

- 囲碁・将棋
- 英会話
- 演劇
- 音楽
- 華道
- 茶道
- JRC
- 写真
- パソコン
- 書道
- 美術
- 文芸放送
- レベラーズ
- 百人一首



●パソコン



●技術



●英会話



●美術



●書道

# 城ノ内が分かる 7つのQ&A

1

## 中等教育学校に移行することで、 どのような変化がありますか。

中等教育学校とは、中学校及び高等学校で行う教育を、一つの学校として6年間で一体的に行う学校のことです。中学校に相当する3年間で「前期課程」、高等学校に相当する3年間で「後期課程」といいます。また、今までの併設型中高一貫教育校では、中学校と高等学校で生徒募集を行っていましたが、中等教育学校では、生徒募集は前期課程でしか行わず、後期課程はありません。中等教育学校では、城ノ内中学校・高等学校で培われてきた教育を継承し、さらに発展させ、6年間を見据えた新たな教育課程でのきめ細やかな学習指導・教育活動を行います。



2

## 「学力分野のリーディングハイスクール事業」での 具体的な取組は何ですか。

本校は、2013年(平成25年)に、徳島県教育委員会から「学力分野のリーディングハイスクール事業」の指定を受け、中高一貫教育のメリットを最大限に生かして、進学面等において本県中等教育を牽引する学校づくりをめざし、次のような取組を行っています。

- ① 学習時間を充実させるために、前期課程では、週当たりの授業時数を33時間に増やしました。(各学年4時間増)
- ② 後期課程では、週当たりの授業時数を35時間に増やすとともに(各学年2時間増)、単位制を導入し、少人数による進路別・習熟度別授業を展開しています。
- ③ 英語・数学・理科・国語については、前期課程3年生の2学期より、後期課程の学習内容を一部移行(先取り)して学習しています。
- ④ グローバル人材の育成をめざし、新たな本校独自科目「グローバルイングリッシュ」を開設し、生きて使える英語学習を行うとともに、語学学習支援(CALL)システムを活用し、英語の4技能をバランスよく学びつつ、英語検定などにも積極的に挑戦しています。



3

## 「先取り学習」はどのように行うのですか。

学力分野のリーディングハイスクールとして、本校では、特に、外国語及び理数教育に力を入れています。このため、英語・数学・理科はもちろんのこと国語についても、学習指導要領に定められた標準時間よりも多い時間を配当し、1年生より計画的に通常の進度に先んじて学習を進めます。前期課程3年生の1学期で前期課程の学習内容を終え、2学期からは後期課程の学習内容を先取りして指導します。特に、後期課程では、理科の必須科目が増え授業時数の確保が課題となっていますが、本校では、先取り学習により、ゆとりを持って各科目を学ぶことができます。





4

## 大学進学に対して、 どのような指導を行うのですか。

本校では、確かな学力の育成と進路希望の達成に全力で取り組んでいます。前期課程・後期課程の6年間を見通した切れ目のない組織的・計画的な指導のもと、生徒は高い目標を持ち、その実現に必要な学力が身に付くよう切磋琢磨しています。特に、後期課程では、難関大学への進学など、生徒一人ひとりの希望に応じた進路指導を行っており、具体的には、進路別の授業、小論文及び面接の指導、個別指導の充実など、きめ細やかな指導を展開しています。



5

## 城ノ内中等教育学校と他の私立中学校等を 併願(複数の学校を受験)することはできますか。

制度上は可能です。各学校にはそれぞれの教育方針や特色がありますので、よく研究し、自分に合った学校に進むことが大切です。



6

## 城ノ内中等教育学校の入学者選抜では、 中学校区ごとに入学者数の割り当てはあるのですか。 また、男女比は考慮されるのですか。

本校は、通学区域を県内全域としているため、入学者数を中学校区ごとに割り当てたり、徳島市内と市外からの入学者の比率を決めたりするなど、地域別に入学者数の制限を加えることはありません。また、男女別の定員も定めていません。



7

## 城ノ内中等教育学校の前期課程を修了した後、 他の高等学校に進学することはできますか。

城ノ内中等教育学校に在籍する生徒は、本校の6年間の中高一貫教育に魅力を感じて志願し入学したものと考えていますので、後期課程に進級することが原則です。ただし、一家転住など、他の高等学校にどうしても進学する必要がある場合には、他校を受験することは可能ですが、その時点で、城ノ内中等教育学校後期課程への進級はできなくなります。



# 令和2年度 徳島県立中等教育学校 生徒募集選抜実施要項

城ノ内中等教育学校概要

## 1 募集定員及び出願資格等

- (1) 募集定員 140名
- (2) 出願資格
  - ア 保護者の現住所が徳島県内にあり、令和2年3月に小学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校前期課程(以下「小学校」という。)を卒業又は修了する見込みの者
  - イ 特別な事情があり、徳島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)が出願を許可した者
- (3) 通学区域 県内全域

## 2 出願手続

- (1) 出願期間  
令和元年12月8日(日)から10日(火)まで  
なお、受付時間は午前9時から午後5時までとし、最終日に限り正午までとします。
- (2) 提出書類  
出願は、保護者が次の書類等を徳島県立城ノ内中等教育学校長に提出して、直接行うものとし、郵送の場合は、書留速達・親展で12月10日(火)正午必着です。
  - ア 入学願書
  - イ 受検票
  - ウ 調査書
  - エ 選抜結果通知用封筒
  - オ 連絡用封筒
- (3) 提出先  
徳島県立城ノ内中等教育学校  
〒770-0003 徳島市北田宮1丁目9番30号
- (4) 書類等の作成
  - ① 入学願書  
入学考査料として徳島県収入証紙(2,200円分)と、出願前3か月以内に撮影した志願者の顔写真(縦4cm×横3cm)を貼付してください。
  - ② 受検票  
入学願書に貼付したものと同一写真を貼付してください。
  - ③ 調査書  
在籍する小学校の校長(以下「小学校長」という。)が作成し、調査書用封筒に厳封したものを、開封せずに提出しなければなりません。
  - ④ 選抜結果通知用封筒  
選抜結果通知用封筒には、404円分の切手を貼付してください。  
県外の場合は、速達料金を含め、694円分の切手を貼付してください。
  - ⑤ 連絡用封筒(面接予定時間)  
連絡用封筒には、84円分の切手を貼付してください。
- (5) 受検票の交付  
出願書類等を受理した後、直ちに志願者に受検票を交付します。
- (6) 県外からの出願  
保護者と共に県内に転住することが明らかである場合など、特別な事情がある者は、出願に先立って、教育委員会の許可(入学志願許可書の交付)を受けなければなりません。

## 3 検査の実施

- (1) 実施日及び会場  
令和2年1月11日(土) 徳島県立城ノ内中等教育学校
- (2) 日程

受	付	8時30分～9時20分
点	呼・注	9時30分～9時45分
検	査 I	10時00分～10時45分 (45分間)
検	査 II	11時15分～12時05分 (50分間)
面	接	13時05分～

### (3) 検査内容及び方法

#### ① 適性検査

自己の考えや意見を表現する力や、課題を発見し、追究し、解決する力など、小学校教育において身に付けた多様な力をみるために、次の検査を行います。

検査Ⅰ	資料等から読み取った内容や情報をもとに、自己の考えをまとめ、文章等で表現する。
検査Ⅱ	生活に関連する事柄等について、課題を見だし、多様な解決方法を考え、その解決を図る。

#### ② 面接

志願者の目的意識、意欲や長所等をみるために、集団面接を行います。

## 4 選抜の方法

小学校長から提出される調査書、適性検査の成績及び面接の結果を資料として、総合的に選抜します。

## 5 選抜結果の通知

令和2年1月18日(土)に、受検者本人あてに郵送によって、選抜の結果を通知します。  
また、併せて受検者の在籍する小学校長にも通知します。

## 6 入学予定者の手続き

### (1) 入学確約書の提出

ア 入学予定者の保護者は、提出期間内に「入学確約書」を城ノ内中等教育学校長に直接提出しなければなりません。

イ 提出期間は、令和2年1月20日(月)から1月22日(水)までとします。

なお、受付時間は午前9時から午後5時までです。

### (2) その他

入学予定者が保護者の転勤等やむを得ない事情により、入学を辞退しようとする場合、その保護者は速やかに「入学辞退届」を城ノ内中等教育学校長に提出しなければなりません。

## 7 繰上合格者の決定

選抜結果の通知後に入学辞退者が生じた場合は、繰上合格候補者に入学の意思を確認した上で、繰上合格者を決定します。

## 8 適性検査の得点の開示

受検者は、選抜の結果について、徳島県個人情報保護条例(平成14年徳島県条例第43号)第26条第1項の規定に基づき、口頭による開示請求を行うことができます。

### (1) 受付期間・受付時間

受付期間は、令和2年1月20日(月)から2月19日(水)までとします。

ただし、土曜日、日曜日、祝日及び2月6日(木)を除く、平日の午前9時から午後5時までです。

### (2) 開示の内容

開示の対象となる個人情報の内容は、適性検査及び調査書の得点です。

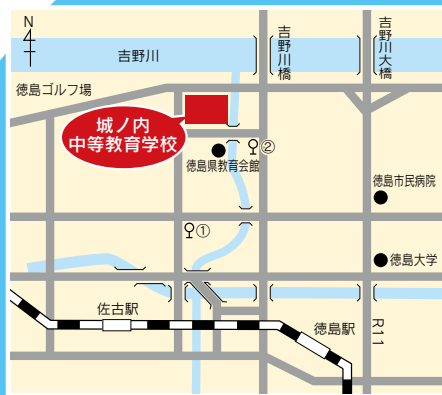
### (3) 受付場所等

受検者本人が、受検票等の本人であることを確認できる書類を城ノ内中等教育学校に持参し、開示の請求をしてください。

※以上の内容について、詳しくは「令和2年度 徳島県立中学校及び徳島県立中等教育学校生徒募集選抜要項」をご覧ください。

# 徳島を思い 世界に 飛ばたく

○お問い合わせ



## 最寄りの交通機関

- 徳島市営バス①  
東田宮下車 徒歩10分
- 徳島バス②  
吉野橋下車 徒歩10分
- J R 佐古駅下車 徒歩20分

## 徳島県立城ノ内中等教育学校

〒770-0003 徳島市北田宮1丁目9番30号

TEL:088-632-3711・3712

FAX:088-633-0126

U R L:<http://johnouchi-hs.tokushima-ec.ed.jp>

E-mail:[johnouchi\\_jhs@mt.tokushima-ec.ed.jp](mailto:johnouchi_jhs@mt.tokushima-ec.ed.jp)

